

派遣生は、ダボ市との交流で、何を体験し、学んだのか

今年ダボ市へ派遣された皆さんは、異文化に接することにより、何を感じ、また何を学んだのでしょうか。
川合市長が、皆さんに貴重な体験や感想を伺いました。

敬称略

川合市長：ダボ市へ行かれた感想について聞かせてください。

山田つぐみ：ダボ市に着いたときには、自然がたくさんあり、町がきれいで農場もあり、人も優しい所だなと思いました。

向井佑紀美：ダボ市の人は、みんな優しい人ばかりでとても楽しかったです。

小野木 香：山がなく地平線が続き日本とは全く違うという印象を持ちました。

村瀬富美子：ダボ市の人たちは、おらかで時間もあまり気にしない人たちだなあと思いました。

太田理沙：ホストファミリーは、救急

車の運転手だったのですが、家に着いたとき救急車が家の前に止まっていたので「どうしたの？」聞いたら、お父さんが救急車で家まで帰ってきたところと説明されて、驚きました。

足立梨乃：飛行機から降りた瞬間全く違う世界に驚きました。関係者の人たちは温かく迎えてくれたので、うれしかったです。

岩腰佳恵：飛行機から地上を見ていたら、家にプールがあつて驚きました。

太田琴美：滞在先は、すごく大きな家で、カンガルーが庭先で遊んでいるのに驚きました。町の人が普通に声をかけてくれてうれしかったです。

渡辺英哉：ダボ空港に着いたとき、美濃加茂市の旗が掲げてあつて、非常に歓迎されていることに感動しました。新聞でも、歓迎のコメントがありうれしかったです。

長尾有祐：日本では見られない地平線に驚きました。ホストファミリーは、気さくな人で、心の広さに驚きました。

松浦由佳：出発する前から、向こう(オーストラリア)の英語は「なまり」がすごいよと聞かされていたのですが、ホストファミリーの人たちの会話は何を話しているのか分からず、最初は、聞くのが精一杯でした。

ホストファミリーは、夜遅くまで働いているにもかかわらず、家族の中で一番早起きで、朝食も家族の分まで作ってしまい驚きました。

渡辺旭宏：僕の緊張をよそに、ホストファミリーは、こうしたホームステイの受け入れに慣れている人のよううで、気さくに声をかけていただきうれしかったです。

川合市長：ダボ市で学ばれたことや外国人との接し方について感想を聞かせてください。

渡辺旭宏：時間に対する考え方の違いを感じました。日本人は、時間通り物事を終わらせようとしてそれぞれしますが、向こうの人はのんびりと生活しているように思います。

松浦由佳：誇りを持って日本の文化を伝えることが必要な感じました。

長尾有祐：日本人は、(相手が)外国人だというところ、少し距離を置きますが、向こうの人たちは、全くそのようなことありませんでした。

僕は、日本庭園は日本の文化だと思っています。日本庭園の修繕を現地の人と行いました。そこで感じたことは、日本庭園はダボ市の人たちにごく気に入ってもらっていたことです。ダボ市の庭園が美濃加茂市にあってもよいのではないかと思います。

